

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日: 令和5年11月29日

事業者名: 丸硝株式会社

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
				指標	目標
環境	ガラスびん・板ガラスの再資源化を通じて、Co2の削減、エネルギーの削減、資源の節約などに寄与している。ストレッチフィルムのリサイクル原料のごみ袋や、バイオマス原料を使用したごみ袋を取り扱っている。太陽光発電所の設置。廃棄物発生量の削減、エネルギー使用量の削減を環境目標として毎年設定している。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ⑫つくる責任 つかう責任, ⑪住み続けられるまちづくりを	令和4年度、本社工場の生産トン当たりの高圧電力使用量、前年実績より▲3%	指標	生産トン当たりの廃棄物発生量および高圧電力使用量、事務所の電力使用量
				目標	廃棄物発生量: 目標 10.0kg/t 前年比 ▲0.1kg/t 高圧電力使用量: 目標 10.5kw/t 前年比 ▲0.2kw/t 事務所電力使用量: 目標 5400kw/年 前年比 ▲111kw
社会	地元の学校、県外の自治体の担当者、市民団体等の工場見学の受け入れ 高校生インターンシップ、中学生の職場体験の受け入れ	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ⑪住み続けられるまちづくりを, ⑫つくる責任 つかう責任	令和4年度 工場見学6件58名、インターンシップ1回1名、職場体験1回1名	指標	工場見学の実施回数
				目標	工場見学を毎年10件実施
経済	ガラスびん製造時に発生する廃棄物からガラスを再分別し、廃棄物の発生量の削減および資源の抽出を行い、廃棄物処理費を削減する。 ガラスびんに混入している金属類等を分別し、有価で売却する。	⑦エネルギーをみんなにそしてクリーンに, ⑪住み続けられるまちづくりを, ⑫つくる責任 つかう責任	廃棄物からのガラスの再分別により、廃棄物発生量を削減し、処理費を削減した。 処理費を払って処分していたアルミキャップを、有価で売却できる業者へ変更した。	指標	ガラスびん混入物の有価売却額
				目標	18,000円 / 年
ガバナンス	チェック	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 毎年環境目標を従業員へ通達し、各部門ごとに目標値を定めている。 年度末に行う内部監査にて、進捗状況と来年に向けての課題を提示し、改善を促している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>				